

市立病院等経営改革について

「市立病院等改革推進計画」策定委員会

市内で運営している市立病院等は、これまでも地域の公的医療機関として地域医療の重要な役割を果たしていますが、診療報酬の抑制や医師不足に伴い診療体制の縮小を余儀なくされるなど、経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況にあります。

そのため、両市立病院においてもその対策に取り組んできましたが、依然として状況は厳しいものであり、平成18年には市としても緊急に医師確保や経営の効率化に向け、「地域医療改革会議」を立ち上げ、一体となった取り組みを行ってきました。

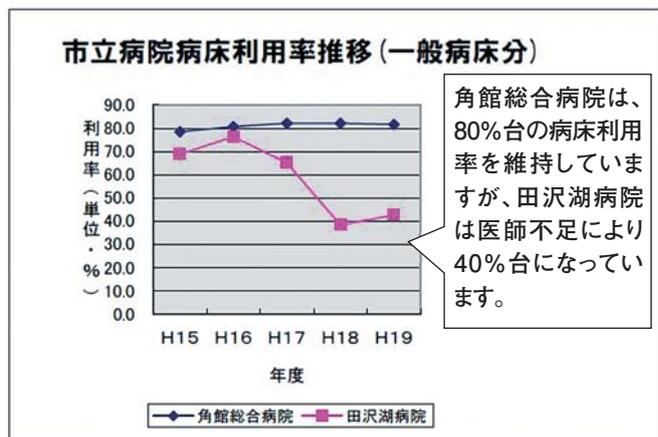
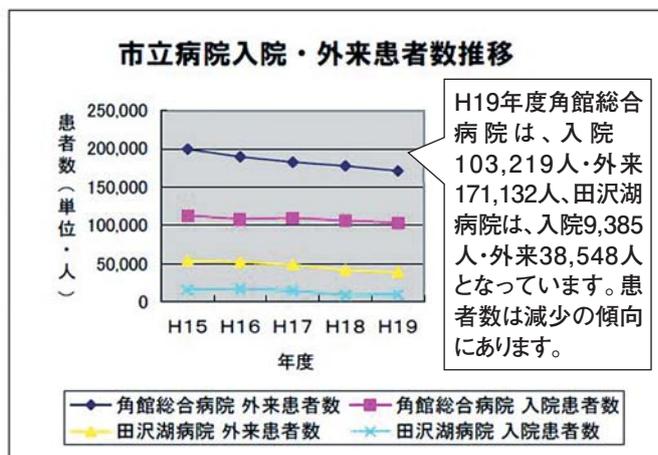
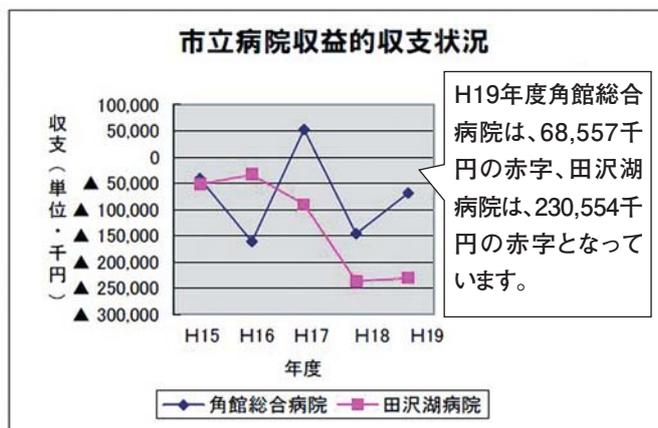
また、国でも全国的な公立病院の赤字が続いている状況から、「公立病院改革ガイドライン」を策定し、『経営の効率化』『再編・ネットワーク化』『経営形態の見直し』を改革の大きな視点として示し、本年度中の経営改革プランの策定を求めています。

このことから市では、これまでの「地域医療改革会議」での議論を踏まえ、本年5月に新たに秋田大学医学部附属病院長、大曲仙北医師会角館ブロック会会長、秋田県市町村課長の3人を外部委員に迎え、市立病院等の経営改革に向けた計画策定委員会を設置しています。

現在、2回の協議を行い、両市立病院の経営の一元化や病院経営管理者の設置、診療所も含めた再編・ネットワーク化、田沢湖病院の経営形態の見直しについて検討を行っています。

市民の皆様には、今後、経営改革についてのご理解とご協力をお願いすることになりますが、将来にわたり市民に安心、安全を提供する継続可能な地域医療の確保に努めるため、病院等の改革を図って参りますので、よろしくご理解をお願いいたします。

問合せ:病院経営改革推進室 TEL(43)9071



※一般病床:角館総合病院 246床(H18. 6まで256床)、田沢湖病院 60床(H15. 4以前 77床)